出張講義のご案内

藤田医科大学地域連携教育推進センター

出張講義お申込みについて

本学は、地域に開かれた教育機関として、本学が持つ「知」を地域のために積極的に提供することを推進しています。

医療と健康について、幅広いご要望にお応えできる講義をそろえています。

1　出張講義一覧表

講師の所属毎に以下のように分けて掲載しています。

A　医学（内科系）　（P.1～P.3）

病院と大学に所属する内科系の医師が担当します。

B　医学（外科系）　（P.4～P.8）

病院と大学に所属する外科系の医師が担当します。

C　医学（その他）　（P.9～P.13）

病院と大学に所属する小児科、産婦人科その他の医師が担当します。

D　医学（基礎系）　（P.14～P.15）

医学部に所属する基礎医学系の大学教員が担当します。

E　医療科学・保健衛生・医科学研究　（P.16～P.22）

医療科学部（検査学科・放射線学科）、保健衛生学部（看護学科・リハビリテーション学科）、医科学研究センターの教職員が担当します。

F　病院/看護・検査・その他　（P.23～P.28）

病院に所属する看護師、臨床検査技師等が担当します。

2　お申込み手順

①　「出張講義申込書」のご提出

→　出張講義一覧表の中からご希望の講義を選択し、出張講義申込書に必要事項をご記入ください。

→　申込書（Excelファイル）を地域連携教育推進センターへメール添付でご提出ください。　メールアドレス： chiiki-c@fujita-hu.ac.jp

→　講師との調整が取れ次第、折り返しメールでご連絡いたします。

~講師・日時の決定~

②　「講師派遣依頼書」・「出張講義依頼書」のご提出

→　講師派遣依頼書・出張講義依頼書（Excelファイル）をお送りいたしますので、必要情報をご入力いただき、メールでセンターまでお送りください。

③　講義までの準備

→　講義の詳細について、講師と直接コンタクトをお取りいただき、準備を進めていただきます。

3　よくあるご質問

Q1 内容や講師などについて要望ができますか。

A1 ご要望に添えるようにいたしますので、ぜひご相談ください。一覧表に掲載されていない講義でも対応できる場合があります。但し、講師の都合等により、ご希望に添えない場合があります。あらかじめご了承ください。

Q2 受講人数に制限がありますか。

A2 講義によって、参加いただける人数は異なります。

Q3 いつまでに申し込めばよいですか。

A3 講師との調整に時間を要しますので、少なくとも2ヶ月前にはお申し込み下さい。

Q4 謝礼はどのようにしたらよいですか。

A4 貴団体の規程に沿ってお取扱いください。基本的に無料で行っていますが、実習などで特別に消耗品を使用する場合はご負担いただくことがあります。

4　お問合せ先

藤田医科大学地域連携教育推進センター
〒470-1192　愛知県豊明市沓掛町田楽ケ窪1番地98
Tel ： 0562-93-9663
E-mail ： chiiki-c@fujita-hu.ac.jp

出張講義一覧表

A　医学（内科）

No.	タイトル	概要	講師
A-1	心臓病を運動で治す	心筋梗塞や心不全の患者さんの運動療法について	医師
A-2	心臓病に効く食事	心臓病を予防する食事や栄養について解説	医師
A-3	人工心臓と心臓移植	重症心不全に対する最新の人工心臓治療や心臓移植の現状について解説	医師
A-4	その息切れは弁膜症かも？	高齢化とともに増加する大動脈弁狭窄症へのカテーテルによる人工弁置換術	医師
A-5	狭心症の最新の検査法と治療	冠動脈CTによる体への負担が少ない検査と最新のカテーテル治療について解説	医師
A-6	肺がんの最新診断と治療	がん死亡のトップである肺がんは増加の一途をたどっています。診断の新技術治療の最新状況についてお話しします。	医師
A-7	間質性肺炎診断と治療	間質性肺炎は近年増加しています。診断も難しく病型をさまざまな本疾患をわかりやすくお話しします。	医師
A-8	COPDの管理と治療	COPD（慢性閉塞性肺疾患）は、大きな健康問題として取り上げられていますが、診断を受けておらず、治療も不十分な方が多くいらっしゃいます。本疾患について管理と治療についてお話しします。	医師
A-9	気管支喘息の治療　最新の動向	気管支喘息の治療は病態の解明と共に多くの進歩を遂げています。難治性の喘息の方にも朗報となる多くの新規治療についてもお話します。	医師
A-10	強皮症について	治療の進歩を含めた最新のトピックスについて解説いたします	医師
A-11	寛解を目指した関節リウマチ治療	関節リウマチはあきらめる病気ではありません。早期から適切に治療することで多くの患者さんがよくなります。関節リウマチの治療目標、治療法を解説いたします。	医師
A-12	脱ステロイド薬を意識した膠原病治療	膠原病患者さんの長期的問題点は生活習慣病となってきています。これにはステロイド薬が大きな影響を及ぼしています。ステロイド薬は膠原病治療には必須ですが、寛解導入後は可能な限り速やかな減量・中止が望まれます。免疫抑制薬や生物学的製剤を用いた脱ステロイド薬の治療戦略を解説いたします。	医師
A-13	膠原病性肺高血圧症	膠原病患者に高頻度に合併する肺高血圧症について膠原病以外の肺高血圧症との特徴や治療方の違いなどを解説いたします。	医師
A-14	全身性エリテマトーデスの最新の治療	全身性エリテマトーデスの臨床的特徴をわかりやすく説明し、それにあった治療選択の方法や日頃注意すべきこと、妊娠・出産についての注意点について解説いたします	医師

出張講義一覧表

A　医学（内科）

No.	タイトル	概要	講師
A-15	多発性筋炎・皮膚筋炎の最近の治療～あなたにとっての一番良い治療選択とは～	多発性筋炎・皮膚筋炎の自己抗体別の臨床的特徴をわかりやすく説明し、それにあった治療選択の方法や日頃注意すべきことを解説いたします	医師
A-16	膠原病患者における妊娠、出産、授乳	膠原病は妊娠可能な年代層の女性に多く、これは切実な問題として女性患者さんを悩ませます。全ての患者さんというわけにはいきませんが、慎重に対応すれば挙児も可能である。これらについて解説いたします。	医師
A-17	膠原病とは?	膠原病という病気の名前を耳にした方はいると思いますが、どのような病気かと理解している方は少ないように思います。よく分からない病気である膠原病について概説致します。	医師
A-18	思った以上にADL障害をきたす脊椎関節症	比較的若年層で発症し、甘く見ていると不可逆的なADL障害をきたす脊椎関節症の症状、診断、治療などを解説いたします。	医師
A-19	新たな国民病CKDの診断と治療	糖尿病や高齢患者の増加により、日本における慢性腎臓病(CKD)罹患人口は増加の一途を辿っている。しかし、無症状のため治療機会を逸し、末期腎不全の状態となって初めて診断される患者も多い。また、最近ではCKDは心筋梗塞や脳卒中など心血管系疾患の危険因子として認知されている。本講義では、診断から治療まで現在のCKD診療について幅広く紹介する。	医師
A-20	パーキンソン病診療の最前線	パーキンソン病の最新の診断、治療、研究などを御紹介します。	医師
A-21	認知症診療の最前線	認知症の最新の診断、治療、研究などを御紹介します。	医師
A-22	脳の健やかな老いを目指して	健常加齢脳の持つ特徴と、認知症予防のためにできることを御紹介します。	医師
A-23	成人の気管支喘息と吸入療法	成人の気管支喘息と吸入療法を動画などを用いていわかりやすく説明します。	医師
A-24	高齢者の肺炎	死因の上位を占める、高齢者の肺炎や誤嚥性肺炎についてわかりやすく説明します。	医師
A-25	新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス感染症について、最新の話題についてもわかりやすく説明します。	医師
A-26	慢性腎臓病の早期発見	なぜ慢性腎臓病を早く見つける必要があるのか？またその方法についても説明します。	医師
A-27	検尿のすすめ	尿検査からわかること、またその必要性について、楽しく学べるように説明します。	医師
A-28	腎臓はマルチプレイヤー	尿を作る以外に、腎臓は休まずに働いています。その様々な働きを紹介します。	医師

出張講義一覧表

A　医学（内科）

No.	タイトル	概要	講師
A-29	がん教育	学校におけるがん教育に必要な知識を教員または児童・生徒に向けてお話します。	医師
A-30	高齢化社会日本の実態と最近のがん治療の進歩	高齢化するわが国の実態と高齢者のがんの特徴、および最近のがん治療（特に高齢者のがん治療、外来がん治療）について解説します。	医師
A-31	悪性リンパ腫って何？	臓器別がん頻度第7、８位で最近も増加傾向にあるリンパ腫について、その病態と最近の治療法および成績について解説します。	医師
A-32	心臓の画像診断：核医学・CT・MRI	近年、発達の目覚ましい非侵襲的心臓画像診断についてお話しします。	医師
A-33	急性心筋梗塞・狭心症	近年食生活の欧米化により、急性心筋梗塞・狭心症は急速に増加し、現在、日本人の死亡原因では、すべての癌についで、第２位となっている。これらの診断、治療、予防について解説します。	医師

出張講義一覧表

B　医学（外科）

No.	タイトル	概要	講師
B-1	食道がん・胃がんの最新治療	食道がん・胃がんの診断・治療について最新のトピックスを交えて概説します。	医師
B-2	大腸がんの最新治療	大腸がんの診断・治療について最新のトピックスを交えて概説します。	医師
B-3	肝がん・膵がんの最新治療	肝がん・膵がんの診断・治療について最新のトピックスを交えて概説します。	医師
B-4	消化器がんに対する化学療法	消化器がんに対する化学療法について最新のトピックスを交えて概説します。	医師
B-5	肥満症に対する外科治療	肥満症の診断・治療について最新のトピックスを交えて概説します。	医師
B-6	食道がんに対する最新治療	食道がんに対する手術治療（特にロボット手術や内視鏡手術）および進行例に対する集学的治療(特に薬物療法)について概説いたします。	医師
B-7	ロボット支援食道がん手術の現状について	保険診療となっているロボット支援食道がん手術の現状についてお話しいたします。	医師
B-8	胃がんに対する最新治療	胃がんに対する手術治療（特にロボット手術や内視鏡手術）および進行例に対する薬物療法を加えた集学的治療について概説いたします。	医師
B-9	ロボット支援胃がん手術の現状について	保険診療となっているロボット支援胃がん手術の現状についてお話しいたします。	医師
B-10	ロボット支援手術の特徴	多くの疾患に対して保険適応となったロボット支援手術の特徴と現状をお話いたします。	医師
B-11	GIST治療	希少腫瘍と言われている消化管間質腫瘍(GIST)に対する外科治療(腹腔鏡手術と開腹手術の違い)と薬物治療の現状についてお話いたします。	医師
B-12	がん地域連携パスについて	手術を行った後も、手厚いサポートができるよう、地域の医療機関と連携した治療を継続します。愛知県で行っているがん地域連携パスについて概説いたします。	医師
B-13	小児科外科外来で診る小児科外科疾患	小児外科医の存在意義は新生児外科にありますが、それ以外にも通常の小児科外来で見かける小児外科疾患についてお話しします。	医師
B-14	手術が必要になる子どもの病気	日常的に見られる頻度の高い病気から、赤ちゃんのころに手術が必要になり大人になるまで経過をみていかなればいけない病気まで幅広くお話します。	医師

出張講義一覧表

B　医学（外科）

No.	タイトル	概要	講師
B-15	子どもの炎症性腸疾患	最近子どもでも患者数が急激に増加している潰瘍性大腸炎やクローン病といった炎症性腸疾患の特徴や治療、トピックスなどについてお話します。	医師
B-16	子どもの低侵襲手術	小さいお子さんでも実施可能な腹腔鏡や胸腔鏡下手術、ロボット支援手術などの現状についてお話します。	医師
B-17	子どもの便秘	便秘で困っているお子さんはとても多いため、原因や治療などについて分かりやすくお話します。	医師
B-18	小児の癌（固形腫瘍）って何？	神経芽腫は脳腫瘍に次いで多く罹患する代表的な小児悪性固形腫瘍の一つであり、神経芽腫以外にもあるため小児外科でみかける小児悪性固形腫瘍についてお話しします。	医師
B-19	DaVinciロボットによる心臓手術	ロボットを使った心臓手術ができるようになってたので、ご紹介いたします。	医師
B-20	植え込み型左室補助人工心臓	心臓移植へのブリッジとしての左室補助人工心臓の実際を皆さんにお伝えします。	医師
B-21	肺移植	肺移植とは何か、その適応、国内外の現状、肺移植手術、成績、脳死ドナー肺提供についてお話しします。	医師
B-22	肺がんに対する外科治療	肺がんの疫学、発生要因、種類、治療法、手術適応、ロボット支援手術など最新の手術法、成績、術前術後の注意点などについてお話しします。	医師
B-23	縦隔腫瘍に対する外科治療	縦隔腫瘍の種類、疫学、ロボット支援手術など最新の手術法、成績などについてお話しします。	医師
B-24	ここが知りたい，乳がんの標準治療って？	乳がんの早期発見，早期治療，手術，再発を予防するための薬物療法は常にアップデートされています．乳がん治療の最新の治療法についてお伝えします．	医師
B-25	ここが知りたい，乳がん手術後って変形するの？	早期乳がんに対する乳房温存手術が日本国内でも実施されるようになり３０年以上が経過しました．安全性（乳房切除と同等の再発成績であること）は確保された治療法ですが，術後の乳房の変形や，左右差など見た目（整容性）に問題を生じることもあります．藤田医科大学病院乳腺外科で実施している，整容性に優れた乳房温存手術について紹介します．	医師
B-26	アドバンス・ケア・プランニング	今後必要とされる終活についてわかりやすく説明します。	医師
B-27	膵癌の最新治療	近年増加しており、予後の極めて悪い膵癌の最新治療につきお話しします。	医師
B-28	肝臓がんの治療	２０２０年の全国統計でがん種別死因５位にあたる肝臓がんは、手術を中心としたいくつかの治療やその組み合わせにより、近年生存率が良くなっている病気です。最新の治療法を概説します。	医師

出張講義一覧表

B　医学（外科）

No.	タイトル	概要	講師
B-29	胃がん・食道がん治療のいま	免疫療法や抗がん剤治療の進歩により、上部消化管領域（食道・胃）の癌治療が大きく変わってきました。手術と抗がん剤治療を組み合わせた外科治療の現状を解説させていただきます。	医師
B-30	肺がん・胸腺腫・重症筋無力症の最新外科手術	当院では、世界でも最先端の肺がんや胸腺の手術を行っています。2005年悪性胸膜中皮腫に対する胸腔鏡手術を報告。2009年肺癌に対する本邦第1例目のダビンチロボット手術を執刀。2012年胸腺腫・重症筋無力症に対する二酸化炭素の送気を併用した剣状突起下アプローチによる単孔式胸腺摘出術を開発。2014年ダビンチロボットを使用した剣状突起下アプローチによる胸腺摘出術法を開発。海外施設を含む110以上の施設に対し延べ200回以上の手術指導を行っています。最新の呼吸器外科手術についてお話しします。	医師
B-31	甲状腺癌の治療	ひとえに甲状腺癌といっても数種類あり、それぞれの治療方針をわかりやすくお話します。	医師
B-32	再発甲状腺癌について	甲状腺癌が再発した場合、どうすればよいでしょうか。最新の知見をもとに解説します。	医師
B-33	副腎にできる腫瘍について	副腎という臓器に腫瘍ができると、どのような症状がでるのか、治療はどうするかをわかりやすく、説明します。	医師
B-34	てんかんの治療法	薬物療法の他、手術治療についても適応も含めてお話しします。	医師
B-35	脳動脈瘤の新しい治療	脳動脈瘤は破裂するとくも膜下出血を起こし，致命率の高い危険な疾患です．最近では様々なカテーテル治療のデバイスが登場し，開頭手術以外により低侵襲で治療することが可能になっています．脳動脈瘤の最新治療について判りやすくご説明致します．	医師
B-36	ICTを駆使した脳梗塞の急性期治療	脳梗塞のうち，太い血管がつまっておこるものはカテーテルを用いた再開通療法の進歩により症状が改善，回復する率が高まっています．当院ではICTを駆使して，来院後，超早期に本治療を開始する体制を確立しています．脳梗塞の急性期治療の現状について判りやすくお話し致します．	医師
B-37	脳卒中の頭痛の治療	突然の頭痛は脳卒中の可能性が高く、症状が悪化すると重度の後遺症や命の危険があり、一刻もはやい治療が必要です。くも膜下出血や脳内出血などの、頭痛を起こす脳卒中の特徴と、これらの病気に対する治療について、最新治療のご紹介を含めて、わかりやすくお話いたします。	医師
B-38	~~この頭痛って脳卒中？~~	~~頭痛はごくありふれた症状が故に背景にある重大な疾患が見逃され適切な治療のタイミングを逸してしまうことがあります。我々脳卒中科では脳出血や脳梗塞の急性期治療を専門としておりますが、本講座ではそのような脳卒中と似て非なる、またはそのまま放置すれば脳卒中になってしまう、頭痛を主症状とした疾患についてご紹介します。~~	~~医師~~
B-39	高齢者の膝痛となる変形性関節症について	膝痛の原因、対処を解説します。	医師
B-40	高齢者の腰椎疾患	腰椎に関する病気について概説します。	医師

出張講義一覧表

B　医学（外科）

No.	タイトル	概要	講師
B-41	変形性関節症、関節リウマチ、骨粗鬆症	関節病の診断と治療、保存療法と手術治療、各種治療法と予防など	医師
B-42	乳がん術後の乳房再建	乳癌は近年増加しており、術後のQOL向上のため、乳房再建も増加しております。乳房再建の方法や現状についてお話します。	医師
B-43	頭蓋顎顔面外科との連携医療	口唇口蓋裂に代表される頭蓋顎顔面領域の先天異常、あるいは顎変形症における矯正歯科・小児歯科担当医としての医科との連携医療の在り方についてお話します。	医師
B-44	専門医による顔面外傷の治療	顔の怪我は機能面のみならず，整容面での配慮が必要であり，専門医の診断や治療が大切であり，どのように対処するのかをお話します。	医師
B-45	基本的な創傷治療の考え方	治りにくい傷をどう治すか，よりきれいな傷跡にするにはどうしたらよいかについてお話します。	医師
B-46	頭蓋顎顔面外科の最新治療	頭蓋顎顔面外科とは頭蓋顔面部に生じた種々の先天異常や後天的変形に対して行う外科であり，その最新の治療についてお話します。	医師
B-47	腎癌に対する最新治療	腎がんに対する手術治療および進行例に対する薬物療法につき概説いたします	医師
B-48	前立腺癌の診断と治療	急速な高齢化と社会生活の欧米化等が原因で近年では前立腺癌の罹患率が急増しております。その診断法と各種治療法のメリット、デメリットを紹介いたします。	医師
B-49	こどもの泌尿器科疾患	おねしょ（夜尿症）やお漏らし（中間遺尿）、頻尿と行った子供のおしっこのトラブルについてわかりやすくお話しします。	医師
B-50	女性泌尿器科疾患の予防と治療	頻尿や尿漏れ、骨盤臓器脱といった女性特有の泌尿器科疾患について治療と予防方法をわかりやすくお話しします。	医師
B-51	泌尿器科ロボット支援手術の現状と展望	手術支援ロボットの登場により、近年の泌尿器科領域に於ける手術治療は激変しました。2012年の前立腺癌に対する健康保険の適応もあり、今後の腎部分切除術の保健適応や他の治療への応用が進行しつつある現状をお話しいたします。	医師
B-52	膀胱癌に対する最新治療	膀胱癌に対する最新治療(手術・薬物療法)について概説致します。	医師
B-53	尿路結石の診断と治療	尿路結石の診断から治療までわかりやすくお話しします。	医師
B-54	本邦における献腎移植の現状	臓器移植法が改正されましたが、未だ本邦での献腎移植数は増加せず待機期間の延長を認めています。背景や問題点などについて詳説いたします。	医師

出張講義一覧表

B　医学（外科）

No.	タイトル	概要	講師
B-55	難聴と補聴器のおはなし	難聴は最も多い身体障害です。生活に支障がある難聴者は約８００万人いると言われております。さらには人は年をとると自然と聞こえが悪くなり、７５歳以上方の実に４０％もが老人性難聴を抱えております。これら難聴とその対応としての補聴器の解説をします。	医師
B-56	アレルギー性鼻炎について	スギやヒノキの花粉により引き起こされる花粉症は国民病ともいわれており、ある調査ではスギ花粉症の有病率は全国で20％を超えると報告されています。これらアレルギー物質により引き起こされるアレルギー性鼻炎のお話をします。	医師
B-57	のど・声帯の癌について	のどとは鼻の奥から食道の入り口までをいい、また食道の入り口の前方に声を出す声帯があります。これらのど・声帯の癌についてのお話をします。	医師
B-58	嚥下機能低下について	加齢とともに嚥下機能が低下することは誰しもが避けられず、またそのために誤嚥を引き起こします。肺炎が原因で亡くなる65歳以上の高齢者のうち、96％が誤嚥性性肺炎によるものという報告もあります。日本は超高齢化社会に突入するため、高齢者の嚥下機能低下は社会問題にもなっております。この嚥下機能についてのお話をします。	医師
B-59	睡眠時無呼吸　診断と治療	睡眠時無呼吸について現在の診断法、治療法について詳しく説明します	医師
B-60	オーラルフレイルってご存じですか？	口の健康は食べることや話すことを通じて健康な生活を過ごすうえで欠かせないものです。最近、口の衰えが体の衰えのきっかけになるといったことが明らかになってきており、これをオーラルフレイルと呼んでいます。口と身体の健康との関係についてお話しできればと思います。	医師

出張講義一覧表

C　医学（その他）

No.	タイトル	概要	講師
C-1	認知症の理解	認知症に関すること全般	医師
C-2	認知症の診断と治療	認知症の診断と治療など	医師
C-3	がん患者の心のケア	緩和ケアチームでの経験をもとに、がんの心の専門家（精神腫瘍医）の立場から、がん患者さんの心のケアについて解説します。	医師
C-4	なおりやすいうつ病、しつこいうつ病	うつ病の予防や、その始まりの自律神経症状に注目した早期対応から、難治性のうつ病の診断や薬物療法・精神療法・心理教育などの対応法についてお話しします。	医師
C-5	お年寄りの心の健康	超高齢化社会をすでに迎えた日本ならではの、お年寄りののこころの問題と対処法についてお話しします。	医師
C-6	自分でできる、不安とうつの対処法	ストレスの多い現代社会において、快適に生活する上での身近な対処法として、呼吸法や自律訓練法をとりあげ指導します。パニック障害や適応障害についても解説します。	医師
C-7	どおしてあの人はああなのか？：大人の発達障害の理解と対応法	職域メンタルヘルスで注目されている大人の発達障害（自閉スペクトラム症・注意欠如多動症）について解説し、良い職場作りのコツについてお話しします。	医師
C-8	こころ病む勤労者への介入術：職場の健康相談から復職に向けての援助まで	職域メンタルヘルスの実務に役立つ具体的な方法を紹介します。	医師
C-9	事例から学ぶこころの病気	職域メンタルヘルスに関連した精神疾患の事例を紹介し、こころの問題についての理解を深め、勤労者への対応力を向上させるお話をします。	医師
C-10	職場のメンタルヘルス：ラインケア編	職域メンタルヘルスの概論を、管理者を視点とした内容でお話しします。	医師
C-11	職場のメンタルヘルス：セルフケア編	職域メンタルヘルスの概論を、勤労者を視点とした内容でお話しします。	医師
C-12	コロナ禍での、自分で出来る、不安とうつの対処法	うつ病や不安障害について学び、腹式呼吸法・自律訓練法・漸進的筋弛緩法や睡眠衛生指導の実際についてお話しします。（コロナ禍バージョン）	医師
C-13	怒りのコントロール	精神科での対人関係療法から、怒りのコントロール法についてお話しします。	医師
C-14	小児喘息診療（診断、重症化予防）について	小児喘息の正しい知識について。　名古屋開催の場合は名古屋市の喘息キャンプの紹介も	医師

出張講義一覧表

C　医学（その他）

No.	タイトル	概要	講師
C-15	小児アレルギー疾患の予防と対策（アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎）	小児のアトピー性皮膚炎または、アレルギー性鼻炎の正しい知識（診断、治療、予防）について。	医師
C-16	小児食物アレルギーによるアナフィラキシー対応について	アナフィラキシー症状の把握と対応を目的として、実践的な状況判断やシミュレーターと実際に針の出る練習用注射器を用いて学びます。	医師 大学教員 看護師
C-17	肝がん・膵がんの画像診断	肝がん・膵がんの３次元画像診断についてお話しします。	医師
C-18	放射線の人体への影響	身の回りにある放射線、人体への影響、美味しんぼ問題、福島の小児甲状腺がん、放射線ホルミシス（放射線は体に良い？）など判りやすくお話しします。	医師
C-19	画像による認知症の早期診断	画像による認知症の早期診断の最近の進歩についてお話します。	医師
C-20	医療情報・診断システムの最前線	最近のフィルムを使わないコンピューターを使った画像診断システムについてお話します。	医師
C-21	PET(ポジトロンCT)による癌の再発診断	PET(ポジトロンCT)は全身のブドウ糖代謝を画像化し、癌の広がり、再発診断に威力を発揮します。実例をお見せし、有用性についてお話しします。	医師
C-22	大動脈瘤の非侵襲治療の最前線	動脈壁の一部が脆弱化し膨らみ発生する大動脈瘤は放置すると破裂し、致命的となります。近年可能となった開胸や開腹術によらないステントグラフト内挿術（血管内治療）の最前線についてお話します。	医師
C-23	脳卒中画像診断の最前線	CT,MRIによる最新の脳卒中の画像診断についてお話します。	医師
C-24	肺癌画像診断の最前線	AIを使った最新の肺がんの画像診断についてお話します。	医師
C-25	大腸がんの最新と治療～予防・発見・治療～	現在日本における癌の罹患数のトップは大腸がんであり、その予防、検査、治療についてお話しします。	医師
C-26	切らずに治す最新の放射線治療	がんに対して最新の高精度放射線治療により副作用も少なく手術と同等の 治療成績も得られるようになってきました。また手術と比較して侵襲性も少なく、 手術不能な患者さんや高齢者に対してもやさしい治療についてお話します。	医師
C-27	がん細胞の転移	がんは発生した部位から遠く離れた臓器へ転移することが特徴です。がん細胞はなぜ、どのように転移するのでしょうか。世界中の研究者が様々な仮説を提唱していますが、まだまだ分からないことだらけです。これまでに明らかになっている、がん細胞の転移のメカニズムについて解剖学や分子生物学の観点から分かりやすく解説します。また私達の研究成果も紹介します。	医師
C-28	摂食嚥下障害の評価，治療	摂食嚥下障害は誤嚥性肺炎，窒息，低栄養の要因となります．病院，施設，在宅においてもその管理は重要となります．その評価方法や治療，管理の方法についてお話しします．	医師

出張講義一覧表

C　医学（その他）

No.	タイトル	概要	講師
C-29	対麻痺者の歩行再建	脊髄損傷などの怪我や病気で対麻痺（下半身麻痺）になると，現在の医療では回復が難しく，車いすの生活になることがあります．対麻痺の方に歩いてもらいたいという気持ちで開発した装具やロボットについてお話しします．	医師
C-30	上肢機能に対する最新のリハビリテーション	脳卒中を始めとする中枢神経の障害によって手の機能を失うことは日常生活上大きな問題をもたらします。手の機能に対する最新のリハビリテーションとしてどのようなものがあるかについて解説をします。	医師
C-31	子宮頸がん - 最近の話題	若年子宮頸がんは、近年増加しており社会的な問題もはらんでいます。それらの解説と成績についてお話しします。	医師
C-32	不妊症について	不妊症に関して解説致します。	医師
C-33	出生前診断について	出生前診断は、近年、母体血を用いた新しい診断法が開発され、日本国内でも注目されています。それらの解説と成績についてお話しします。	医師
C-34	分娩の歴史と現在	お産は、人間にとって生命の根幹をなす自然現象ですが、従来非常に危険な自然の営みとされてきました。こうした妊娠分娩の歴史をひもとき、現在の産科医療の現状と対比しながら、お産のありかたを考察して解説致します。	医師
C-35	子宮筋腫に対する腹腔鏡下手術	子宮筋腫は頻度の高い疾患で、近年は低侵襲性治療として腹腔鏡手術が多くの施設で実施されるようになっています。それらの解説と成績についてお話しします。	医師
C-36	婦人科がんのトピックス	若年者での罹患が増えている婦人科がんにつき、病気の特徴や治療方法、最近のトピックスにつき解説いたします。	医師
C-37	産科救急	妊娠・出産は、そのほとんどが無事に経過しますが、中には命がけの事態に陥ることもあります。妊娠・出産と常に隣り合わせにある産科救急についてお話します。	医師
C-38	産婦人科領域における漢方治療	漢方治療の基礎から産婦人科領域における漢方治療についてお話しします。	医師
C-39	集中治療室って何するところ？	集中治療室でどのような治療がおこなわれているかご存知ですか？集中治療室は、診療科、年齢、性別を問わず、呼吸や循環などをはじめとする様々な臓器の機能が低下している患者さんを、強力かつ集中的に25時間体制でサポートするところです。病棟での治療が困難な患者さんを、様々な機器や薬剤などを駆使し、絶え間ない観察と肌理細やか治療を実践して救命します。具体的な治療法を紹介し、集中治療室で行われている治療を解説します。	医師
C-40	ECMOってどのような治療？	新型コロナウイルス感染症が猛威を振るった2年間に、本邦でも多くのECMO治療が行われました。マスメディアにも新型コロナウイルス感染症による重症呼吸不全の最終手段として取り上げられ、耳にしたことがある方も多いのではないでしょうか？実際ECMO治療はどのような患者にどのように行われるのか？どのような経過をたどるのか？今後ECMO治療はどのように利用されるのかについて説明します。	医師

出張講義一覧表

C　医学（その他）

No.	タイトル	概要	講師
C-41	安全に手術を受けていただくための麻酔科医の役割	手術中や手術直後の合併症の多くは、患者さまの合併症が原因となっていることが知られています。安全に手術を受けていただくために、予定手術においては予め周術期管理センターを受診いただき、麻酔に対するリスク評価や追加の精査、術前の治療などを行わせていただいています。また、近年高齢者に増加しているサルコペニア・フレイルの状態は術後合併症のリスクをあげるため、栄養介入や術前のリハビリテーションの重要性もいわれています。安全に手術を受けていただくための術前合併症のコントロールの重要性や、全身麻酔の方法、手術中の麻酔科医の役割などについて分かりやすく解説します。	医師
C-42	集中治療室長期入室後に社会復帰するために	重症の病気のために集中治療室（ICU)に長期間入室した方の多くは、ICU退室後、さらには病院退院後も長期間に及ぶ運動機能障害や認知機能障害、制心機能障害などが生じ、社会復帰が困難になっていることが明らかとなっています。これは集中治療後症候群（PICS)と呼ばれています。さらに患者のPICSが家族の精神にも影響を及ぼすことが明らかになっています。集中治療は、救命の先にある社会復帰を目標とすべきであり、PICSを社会問題としてとらえる必要があります。PICSはなぜ起こるのか？どのように予防するのか？家族の役割は？行政や地域医療との連携は？などについて説明します。	医師
C-43	慢性疼痛　～困っていませんか、頑固な痛み～	頑固な慢性疼痛にお困りではありませんか？薬局で買える痛み止めで効かない慢性疼痛は、ある種特殊な痛みかもしれません。最新知見を含め、慢性疼痛の最前線について解説します。	医師
C-44	全身麻酔とその他の麻酔 ～何が違うの？いろんな麻酔～	手術時に必ず必要となる麻酔。色々な麻酔がありますが、その特徴や方法についてはあまりご存じではないのではないでしょうか？いろんな麻酔、最近の麻酔について分りやすく解説します。	医師
C-45	敗血症の最新知見　～敗血症治療はここまですすんだ～	罹患すると大変恐ろしい敗血症。2012年より世界敗血症デーを制定し、敗血症の罹患率・死亡率の低下を目指しています。我々が取り組んでいる敗血症治療の最新知見・最新治療をわかりやすく解説します。	医師
C-46	尿路感染症	膀胱炎、腎盂腎炎を中心に診断と最新のガイドラインに沿った治療法を紹介いたします。	医師
C-47	性感染症	尿道炎からAIDSまで膀胱炎、腎盂腎炎を中心に診断と最新のガイドラインに沿った治療法を紹介いたします。	医師
C-48	臨床微生物学	正しい検体採取法について	検査技師
C-49	抗菌薬の種類と作用機序	薬剤感受性試験と抗菌薬の種類と作用機序	医師
C-50	臨床感染症学	中枢神経系感染症（髄膜炎）、敗血症、尿路感染症、性感染症、皮膚・軟部組織感染症などの感染症について	医師
C-51	臨床感染症学	COVID-19について	医師
C-52	院内感染対策	標準予防策・経路別予防策	看護師

出張講義一覧表

C　医学（その他）

No.	タイトル	概要	講師
C-53	感染症治療	抗菌薬の適正使用について	医師
C-54	手術部位感染予防	周術期の管理法について	医師

出張講義一覧表

D　医学（基礎系）

No.	タイトル	概要	講師
D-1	がんの病理診断と病理医の役割	日本人の死因の第1位は「がん」であり、その診療の大きな拠り所になっているのが「病理診断」です。その病理診断がどの様に行われるのか、診断に従事する「病理医」の役割についてお話しします。	医師
D-2	遺伝子の発現異常と疾患	普段何気なく生きている私達の身体の中でも、たくさんの遺伝子が精密に調節されて働いています。そのような調節が破綻すると様々な病気の原因にもなってしまします。正しい遺伝子の働き方、遺伝子の発現異常と疾患についての例をご紹介いたいと思います。	大学教員
D-3	ホルモンと健康	体調を整えているのは自律神経ですが、ホルモンはその中で大切な役割を果たします。体温・血圧・食欲・睡眠など、多彩な自己調整を担当する数多くのホルモンの働きで、我々の体は精妙に整えられているのです。	大学教員
D-4	嗅覚の生理学	嗅覚の生理学研究者匂いの知覚は、鼻腔の奥にある嗅細胞と呼ばれる神経細胞で受容、電気信号に変換され、脳に伝達されます。この変換の生理学的メカニズムについてお話しします。	大学教員
D-5	最先端脳科学	現代の脳科学においては最先端の科学技術により一昔前には想像できなかったような研究成果が次々と報告されています。現代の脳科学者はどのようなことを考えて日々研究を進めているのでしょうか。研究の裏側を紹介しながら、最新の話題を提供します。	大学教員
D-6	がんにならないために心がけること	生活習慣や食品とがんとの関係についてお話をいたします。	大学教員
D-7	生きること、がんになること	私たちの体は30兆個ほどの細胞が一体となっており、必要に応じて細胞が更新されることで、生涯を通じて機能を保ちます。「幹細胞」はそれぞれの組織や臓器で細胞を入れ替える司令塔となる細胞です。一方で、細胞を入れ替える際に何らかの不調が起きることが、がんの原因とされます。つまり、生きていれば不調が起きることもあり、がんが出来やすくなるのは避けられないのかもしれません。最近の研究で、がんにも「幹細胞」の働きをする細胞（＝がん幹細胞）があることが分かってきました。がんの司令塔としてのがん幹細胞の最新の研究成果から、生きること、がんになることを考えてみたいと思います。	大学教員
D-8	薬物治療の基本原理	副作用はなぜ出るのか、医学生に教えている薬理学の一部を噛みくだいて解説します。	大学教員
D-9	がん就労者への支援	がんが助かる病気になり、がん治療を続けながら仕事をする人も増えています。職場はどのように支えればよいか、お話しします。	大学教員
D-10	生活習慣病の予防	肥満、高血圧、糖尿病、メタボリックシンドローム、痛風等生活習慣病の予防や対策に関するお話をします。	大学教員
D-11	仕事に伴う心理的ストレスへの対応	仕事に伴う心理的ストレスは、健康を損ねる原因として注目されています。職場で行うべき対処方法についてお話しします。	大学教員
D-12	医学分野における人工知能の貢献～過去から現在、未来まで～	近年、人工知能（AI）が様々な分野で注目をあびていますが、医学においても例外ではありません。診断支援を中心に、過去から現在までのAIの医学応用事例やその仕組みを紹介し、今後の展望をお話いたします。	大学教員
D-13	ポールウォーキング ノルディックウォーキング入門	ウォーキングが楽しくなる。2 本のポールを使った安全かつ効果的なウォーキングの解説と実技を行います。	大学教員

出張講義一覧表

D　医学（基礎系）

No.	タイトル	概要	講師
D-14	みんなのコミュニケーション入門	親子、職場などでの人間関係に悩んでいる方も多いと思います。自分が伝えたいことを相手に正しく理解してもらうためにはどのようにしたら良いか、様々な体験を通して楽しくコミュニケーションを学びます。自分自身をよく知るためのきっかけにもなります。	大学教員
D-15	いざという時役立つ救命救急法（AED講習会全般）	目の前で人が倒れたときあなたに何ができますか。心肺蘇生法を楽しく学びます。	大学教員
D-16	子どものスポーツ現場での突然死について	スポーツを安全に楽しむために， スポーツのリスクを知り， いざというときの対応を学びま	大学教員
D-17	災害に備える	日常生活でできる防災・減災について防災士から学びます。各種演習もご相談くださ	大学教員
D-18	楽しいアマチュア無線	災害やボランティアで活躍するアマチュア無線について解説します	大学教員

出張講義一覧表

E　医療科学・保健衛生・医科学研究

No.	タイトル	概要	講師
E-1	めざそう！いきいき健康生活	生活習慣と健康との関連をお話しし、健康的な生活とは何かを考える機会を作りたいと思います。	大学教員
E-2	医療における自己決定権を理解しよう	医療の受け手にとって、どのような医療を受けるのか、又は受けないのかを自分で決めることは大切です。自分にとってベストの選択をするためにどうしたらいいかについて、自己決定権の観点からお話します。	大学教員
E-3	飲んで笑ってからだにいいノウ（脳）	水分摂取と笑いが脳に与える効果	大学教員
E-4	動画で見る！観る！看る！ 赤ちゃんの発達とお世話のポイント♥	０か月～１歳の赤ちゃんの発育発達とお世話のポイントを月齢ごとに説明します。	大学教員
E-5	感染？！-風邪をひくと体温が上がるわけは？	風邪をひくと体温が上がるわけと、高熱時の対処法を説明します。	大学教員
E-6	スッキリわかる排泄（はいせつ）の仕組みースムーズな排便のために！ー	便秘の仕組みがスッキリわかる"つまらない"うんこのはなしをします。	大学教員
E-7	おなかの調子はいかがですか？！ ー下痢になったらどうする？ー	下痢が起こる原因と正しい対処法を説明します。	大学教員
E-8	手はキレイ？！正しい手洗い方法とは！？	手洗い後の「洗い残ししやすい部位」を知って、効果的な手指衛生の方法を身につけます。	大学教員
E-9	ケガしたら…？ 救急車呼ぶ？！ それとも自分で受診？！ ーおぼえておこう！ 応急手当の基本ー	"今日からできる"ケガをしたときの対処法と人間、誰もが必ず持っている心の働きを説明します。	大学教員
E-10	コロナ禍における、がん検診受診の向上に向けて	コロナ禍だからこそ、自身の身体と向き合うことや検診の大切さを考えてみましょう。各がん検診のコロナ前後の受診率、検診の必要性や位置付けの基礎知識と共に乳がんの自己検診をはじめとした、検診受診以外の日頃の身体チェックをお話します。	大学教員
E-11	身体を清潔にすることの意義	歯磨きや入浴など普段何気なく行っている身体を清潔に保つ行為、これにはどのような意味があるのでしょう。健康に暮らすためのヒントをご説明します。	大学教員
E-12	脳卒中運動麻痺と脳機能	脳卒中後遺症の運動麻痺が生じたときや、回復したときには脳機能に変化が生じています。最新の脳機能計測法と脳卒中後の脳機能変化について解説します。	大学教員
E-13	簡単ひとりでできる！認知症・介護予防体操と基礎知識	高齢者の４割が認知症やその疑いがあると言われる時代になり、介護を重度化する要因に挙げられています。簡単に、ひとりでもできる認知症・介護予防体操を実技で一緒にまなびましょう！	大学教員
E-14	少子高齢化社会を救う！地域包括ケアシステム	日本はこれから「超高齢化」に加え「少子化」という深刻な課題を抱えています．病気や障害になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるための国の対策「地域包括ケアシステム」を学び，準備をはじめませんか．	大学教員

出張講義一覧表

E　医療科学・保健衛生・医科学研究

No.	タイトル	概要	講師
E-15	よくわかる！子どもの言語・食行動の発達	子どもの言語・食行動の発達には個人差があります．言語や食行動の発達過程でよく見られる症状と関わり方の工夫などをお話しします．	大学教員
E-16	よくわかる！誤嚥性肺炎にさせない・ならない，食事や口腔ケアの工夫	高齢者の死因のなかで，誤嚥性肺炎は増加傾向にあります．誤嚥性肺炎にさせない・ならないための食事や口腔ケアについてお話しします．	大学教員
E-17	美味しく食べ続けるために！日頃から行える口の体操	ヒトのノドは「食べる・飲む」ためには不利な構造です．美味しく食べ続けるために，摂食嚥下の基礎知識を解説するとともに日常生活でできるエクササイズを紹介します．	大学教員
E-18	知って得する作業療法の視点！不器用な子との関わり方	作業療法は運動・感覚・認知・社会性など様々な視点から子どもの困り感を捉えて，支援します．「がんばれ，がんばれ」と繰り返し練習しても上手くならない子どももいます．そんな子には・・	大学教員
E-19	知って得する作業療法の視点！子育てへの活用	作業療法では子どもの日常の中での困り感や苦手な事象の理由を考え，遊びを通して解決に繋げます．子どもの「やりたい」を引き出し，「できる」をふやす作業療法の視点を子育てに取り入れてみませんか．	大学教員
E-20	「バランス」についてよくわかる！なぜ立っていられる？安全に動ける？	リハビリテーション医療の専門職，理学療法士・作業療法士が，人間のバランスとはなにか，必要な身体の機能や能力は何か，どのようにトレーニングするかをお話しします．	大学教員
E-21	不思議な体験から脳の感覚統合を理解する！あれ？これは自分の体？	心理学の分野では「自分の体ではない物体を，まるで自分の体であると感じる」錯覚を簡単に安全に生じさせることができます．この脳の感覚統合を体験し，ヒトの活動を理解します．	大学教員
E-22	座りっぱなしは大問題！？日常生活を少し変えると，健康が大きく変わる	座りっぱなしの生活が心身に与える悪影響が明らかになってます．本講では，具体的な原因と日常生活で対策するためのコツをお話しします．	大学教員
E-23	通院０分！？最先端の技術やロボットを使ったリハビリテーション医療	ロボットや情報通信技術の著しい進化によって，リハビリテーション医療も大きく変化しています．今回は，医療保健福祉で期待されている様々な最新テクノロジーをお話しします．	大学教員
E-24	楽しようとしていませんか？電気で筋肉を増やすために知っておくべきこと	一般的な健康機器として，電気刺激機器が多く市販されています．電気刺激で筋肉が増える理由と落とし穴，機器の安全な使い方や効果的な方法についてお話しします．	大学教員
E-25	高次脳機能障害ってなに？「考える」「わかる」ことの障害がよくわかる！	脳卒中や頭部外傷のあとで，脳の「考える力」「わかる力」が働かなくなることがよくあります．どのような問題がおこってくるのか，それに対するリハビリテーションについて説明します．	大学教員
E-26	今日から出来る！家族同士で行えるストレッチ・筋力トレーニング	中高校生が家族にできるストレッチや筋トレ方法を教えます． 中高校生と祖父母（両親でもOK）が参加対象とできたら良いかと思います．	大学教員
E-27	パーキンソン病と診断されたら？自分でできる！セルフエクササイズ	パーキンソン病の特徴をわかりやすく解説，パーキンソン病の方が自宅で生活するにあたり注意すべき点，行って欲しいセルフストレッチや体操の説明と実演をします．	大学教員
E-28	「二世帯住宅の要点」知っていますか？高齢者が暮らしやすい住宅とは	二世帯住宅を考えるときに，気を付けた方が良い点を，リハビリテーション医療の専門職，作業療法士の考え方からわかりやすくお話しします．	大学教員

出張講義一覧表

E　医療科学・保健衛生・医科学研究

No.	タイトル	概要	講師
E-29	知って得する作業療法の視点！子供の鉛筆と箸の持ち方と手の発達	小学校低学年のお子さんを持つ保護者の方に，子供の発達を促す手の器用さの育て方を，リハビリテーション医療の専門職，作業療法士がわかりやすく説明します．	大学教員
E-30	良く聞く話！ロコモ・フレイル・サルコペニアって何か違うの？	近年高齢者を中心に問題となっているロコモティブシンドローム，フレイル，サルコペニアについて，それらの違いと予防方法についてお話しします．	大学教員
E-31	からだのしくみがよくわかる！腕や足はどうやって動いているの？	腕や足が動く仕組みについて，骨・筋肉・神経との関わりを中心にお話しします．また，その仕組みが崩れた場合にどのような病気や状態になるかもお話しします．	大学教員
E-32	革細工でストレス発散！楽しみながら心をほぐす	コースターや栞など革細工を通して，作業がもたらす精神的な効果，身体的な効果を，リハビリテーション医療の専門職，作業療法士がわかりやすく説明します．	大学教員
E-33	知っていますか？こころの病気のリハビリテーション	リハビリテーションの言葉の意味や始まり，メンタルヘルス領域で行われているリハビリテーションの実際などについて，また友人や家族が当事者と一緒にできる方法について，リハビリテーション医療の専門職，作業療法士がお話しします．	大学教員
E-34	痛みを和らげよう！五十肩のセルフケア	五十肩は，肩関節の病気の中で最も多いもので，痛みや，肩の動きが悪くなるといった症状です．そのリハビリテーションについて，リハビリテーション医療の専門職，作業療法士がわかりやすくお話しします．	大学教員
E-35	むくみの改善方法を教えます！原因別の対処方法	様々な原因で腫れ（浮腫）が生じます．その腫れの原因は何か，対処方法を含め，わかりやすく解説します．	大学教員
E-36	深く理解する！リハビリテーションの仕事ってなにするの？	リハビリテーションと聞くとマッサージをする，ストレッチをする，筋トレをするというイメージがあると思います．ですが，それらの方法はリハビリテーションの目的である「生活の再建」をするための手段の一つです．リハビリテーションの仕事について，理学療法士，作業療法士，言語聴覚士といった専門家の役割も含めてご紹介します．	大学教員
E-37	医療系大学での教育，知っていますか？	医療系大学で行われる教育について，また，座学教育と技能教育の違いについてわかりやすく説明します．	大学教員
E-38	どこにどう良いのか？運動することは体に良いと言うけれど	日頃から耳にする「運動することは体に良い」は，具体的にはどのような運動が良いのか？何がどう身体に作用し，健康増進につながるのか？をわかりやすく解説します．	大学教員
E-39	皆でやってみましょう！高齢者が室内で出来る健康寿命を延ばす運動	高齢者が室内でも簡単に出来る運動について実演し，身体にどのように作用し，健康寿命を伸ばすのか？について具体的に解説します．	大学教員
E-40	弱った筋肉をどうやって鍛える？1人でもできる筋力トレーニング	筋+D35力とはなにか，筋力トレーニングの注意点はなにか，自宅でできる筋力トレーニングの具体的な方法はなにかを説明します．	大学教員
E-41	今日からやってみよう！障害を起こさないための体づくり	障害を起こさないための体づくりに欠かせないストレッチ，筋力トレーニングを実践交えて，リハビリテーション医療の専門職，理学療法士がわかりやすく解説します．	大学教員
E-42	よくわかる！肩こり予防・改善の知識，すぐできる体操を紹介します	現代病である「肩こり」について，その一般的な原因を解説し，「肩こり」の予防・改善のための自分でできる体操について実技を交えてお話しします．	大学教員

出張講義一覧表

E　医療科学・保健衛生・医科学研究

No.	タイトル	概要	講師
E-43	よくわかる！五十肩，腰痛を経験した理学療法士が考える対策	五十肩（肩関節周囲炎）と腰痛の実体験を元に，リハビリテーション医療の専門職，理学療法士がその経緯や対策について説明します．	大学教員
E-44	よくわかる！腰痛に対する基礎知識と予防・対策	腰痛は仕事や日常生活を妨げる大きな問題です．腰痛の原因は様々ですが，腰痛を引き起こしやすい姿勢や，原因となる疾患などについて簡単に説明し，日常生活での過ごし方や簡単な運動など腰痛の発生予防についてお話しします．	大学教員
E-45	正しい知識は転ばぬ先の杖！？すぐ始める転倒予防のための対策と運動	高齢者に多く発生する「転倒」について解説し，予防するための対策や効果的な運動について，実演を交えながらお話しします．	大学教員
E-46	深く理解する！認知症のある方々に接する方法	認知症のある人は身近な存在になってきています．認知症のある人の見ている世界はどのようなものか想像し，それに対する接し方をお話しします．	大学教員
E-47	自宅でできる！認知症予防のための運動や対策を紹介します！	認知症の患者さんは，世界で5000万人以上いるといわれています．認知症にならないための予防が重要です．頭と身体を使った運動方法をお話しします．	大学教員
E-48	脳卒中ってどんな病気？リハビリテーションってなにするの？	要介護状態を引き起こす代表的な疾患である脳卒中．脳卒中とはどんな病気なのか，なぜ多様な症状を引き起こすのか，障害とはなにか，脳卒中に対するリハビリテーションとは何をするのか．病気の基礎知識から最先端のリハビリテーション治療の紹介，自宅でできるリハビリテーション方法の紹介などについてお話しします．	大学教員
E-49	知ってそうで知らない！福祉とリハビリテーションの関係について	福祉とリハビリの関係を説明します．	大学教員
E-50	深く理解する！リハビリテーションってなに？	リハビリテーションは体の回復のための運動というだけでなく，心の回復，考える力の回復，生活する力の回復，といういろいろな側面があります．リハビリテーションのいろいろについて説明します．	大学教員
E-51	ひとりでできる！ロコモにまけない生活対応（簡単な運動と工夫）	ロコモという言葉を最近よく聞きませんか？ロコモとは高齢者に多い運動器の障がいです．ロコモの知識や生活の工夫，ひとりでできる簡単な体操を，楽しみながら学びましょう．	大学教員
E-52	ひとりでできる！パーキンソン病にまけない！体操と生活対応（簡単な運動と工夫）	パーキンソン病は国の特定難病の指定第２位であり，認定途中や「症候群」といわれる方を含むと多くのかたが悩まれています．知識や生活の工夫と対応，簡単な体操を楽しみながら学びましょう．	大学教員
E-53	ひとりでできる！腰痛・膝痛にまけない生活対応（簡単な運動と工夫）	腰痛・膝痛は高齢者にもっとも多い痛みの訴えです．痛みの知識や生活の工夫，ひとりでできる簡単な体操を，楽しみながら学びましょう．	大学教員
E-54	初めて知った！要支援・要介護の当事者に聞いた，自宅生活での困りごと（家族対応と工夫，簡単な体験）	介護保険認定をうけた当事者の実際の生活をたくさん集めて専門職が学び合う取り組みがあります．本人の「ささやかな願い，生活上の困りごと，思い，趣味」をどのように守り支えているかを知ると，そこには介護のヒントがあります．楽しみ体験しながら学びましょう．	大学教員
E-55	本当にあった！介護保険サービスを使ったのに重度化する現実．知って得する「新しい健康づくりと支え方」（行政支援と対応，簡単な体験）	「要支援１の認定者のうち７割が１年後に介護度増悪する」そんな町が実在します．現在，介護保険以外の生活支援の「行政サービス」は市町村ごとに異なります．あなたの町の介護保険に頼らない，あたらしい行政支援と地域資源，専門職支援について知ってみませんか？	大学教員
E-56	ひとりでできる！コロナフレイルにまけない生活対応（簡単な運動と工夫）	心身・社会参加が虚弱になる「フレイル」．コロナ感染予防に関連するフレイルが急増しています．生活の工夫，ひとりでできる簡単な体操を，楽しみながら学びましょう．	大学教員

出張講義一覧表

E　医療科学・保健衛生・医科学研究

No.	タイトル	概要	講師
E-57	ひとりでできる！孤立・孤独死にまけない生活対応（簡単な運動と工夫）	孤立・孤独死という言葉を最近よく聞きませんか？人生１００年時代のお一人様生活を楽しむために孤立や孤独を知ることからはじめませんか？健康とのつながり，知識，生活の工夫，簡単な体操を，楽しみながら学びましょう.	大学教員
E-58	ひとりでできる！高血圧・心臓・血管の病気にまけない生活対応（簡単な運動と工夫）	心疾患は国民の死因第２位です．高血圧や血管の病気，不整脈，胸の苦しさ，息切れなど，知識や生活の工夫と対応，簡単な体操を楽しみながら学びましょう.	大学教員
E-59	身につけよう！小・中学生向け「スポーツの楽しさとケガの予防」（長く楽しむ対応と生活指導，簡単な運動と工夫）	SDGs目標３「すべての人に健康と福祉を」は，スポーツを通したSDGsとして注目されています．子供達によくあるスポーツ障害や怪我，高齢や病気や体の障がいがあってもスポーツを楽しむ方々を支える医療と体への関心を育み，長く楽しむ健康づくりを体験を通して学びます.	大学教員
E-60	身につけよう！前期高齢者向けスマホをつかった「未病のススメ」（長く楽しむ対応と生活指導，簡単な運動と工夫）	人生１００年時代を自分らしく楽しく生きてゆくためにも，いま，未病が熱い！アクティブシニアだからこそ気をつけたい地域で身近に手に入るカラダの検査結果や数値の意味，ITによる未病活動と最新の介護予防を知り，人生を長く楽しむ秘訣を一緒に学びませんか？	大学教員
E-61	身につけよう！高齢者向け「スポーツの楽しさとケガの予防」（長く楽しむ対応と生活指導，簡単な運動と工夫）	人生１００年時代を自分らしく楽しく生きてゆくためにも，いま，シニアスポーツが熱い！シニアだからこそ気をつけたい怪我と，予防を知り，長く楽しむ秘訣を一緒に学びませんか？	大学教員
E-62	身につけよう！小・中学生向け「病気や障がい者をささえる仕事」（長寿を支える生活支援，簡単な体験と工夫）	SDGs目標３「すべての人に健康と福祉を」．世の中の病気や体の障がいを知り，その方々を支える医療・福祉職のやりがいや楽しさを体験を通して楽しく学びます.	大学教員
E-63	終活前に考えたいもしもの時に周りが困らない「自分の意思」と自分らしい人生選択（ACPと人生会議，簡単な体験）	「人生会議」や「ACP」という言葉を聞いたことがありますか？まずは，一人暮らしの自分が倒れ救急車を呼ぶとき，事前に，誰に何を書き残し伝えてあると周りが困らないかを知り，書き出すことを体験してみませんか？	大学教員
E-64	初めて知った！地域包括支援センターの職員に聞いた「地域高齢住民の相談と困りごと」（相談内容と対応，簡単な体験）	介護保険や認知症など地域高齢者のなんでも相談所「地域包括支援センター」．よせられる地域高齢者の困りごとをあつめて学びあう取り組みがあります．「ささやかな願い，困りごと，思い」を支える取り組みや生活互助，そこには高齢化する地域活動へのヒントがあります．楽しみ体験しながら学びましょう.	大学教員
E-65	身につけよう！学校や団体関係者向け「車椅子をつかう障がい者への共感・理解と対応」（対応と簡単な体験，工夫）	学校や地域活動の関係者にむけて，車椅子を使用して暮らす障がい者や高齢者と交流する際に，どのように配慮し，対応したらよいか困ることはありませんか？暮らし，楽しさ，よくある困りごとと対応，危険な医学的リスク，簡単な車椅子チェックや体験など一緒にまなんでみませんか？	大学教員
E-66	ひとりでできる！糖尿病・腎臓の病気にまけない生活対応（簡単な運動と工夫）	糖尿病患者と予備軍は国民の６人にひとりといわれ透析利用者も増えています．腎臓にかかわる病気の知識や生活の工夫と対応，簡単な体操を楽しみながら学びましょう.	大学教員
E-67	初めて知った！認知症当事者に聞いた，自宅生活での困りごと（家族対応と工夫，簡単な体験）	認知症当事者の方々が語る「生活上の困りごと，思い，工夫」をたくさん集めて実情を知ってもらう取り組みがあります．「認知症」には様々な側面があること，笑顔と素敵な時間もたくさんあること，楽しみ体験しながら学びましょう.	大学教員
E-68	ひとりでできる！物忘れ・認知機能低下を進めない！写真でできる回想法を体験してみよう（簡単な運動と工夫）	認知症は高齢者の４人にひとり，高齢になるほど認知機能低下は進むとされています．回想法にて昔を思い出し，書き出し，語り，笑顔になる素敵な時間と，簡単な体操を楽しみながら学びましょう.	大学教員
E-69	ひとりでできる！息切れ・咳・肺の病気にまけない生活対応（簡単な運動と工夫）	肺炎は85歳以上高齢者の死因第２位から１位です．息切れ，のどによく絡む，咳が弱い，痰がうまく出せない，肺の知識や生活の工夫と対応，簡単な体操を楽しみながら学びましょう.	大学教員

出張講義一覧表

E　医療科学・保健衛生・医科学研究

No.	タイトル	概要	講師
E-70	早く使えばよかった！生活を豊かに楽にする道具たち（最新の生活支援・福祉用具，簡単な体験）	最新の生活支援・福祉用具は高齢者に多い「生活上の悩みや不安」を手助けしてくれる方法のひとつです．具体的な生活の困りごとに対応する便利グッズを知って，体験してみませんか？	大学教員
E-71	身につけよう！小・中学生向け「杖や車椅子を使うお年寄りへのお手伝い」（長寿を支える生活支援，簡単な体験と工夫）	SDGs目標３「すべての人に健康と福祉を」．世の中の病気や体の障がいを知り，その方々を支える福祉機器・自助具や補助具の大切さや「お年寄りが喜ぶお手伝い」を，楽しさと体験を通して学びます．	大学教員
E-72	初めて知った！あなたのお家が病院に．「ここまでできる!　最新の訪問リハビリ」（相談内容と対応，簡単な体験）	訪問看護ステーションはこの１０年で３倍近くに増加し在宅医療が身近になってます．人生１００年時代，免許返納後に通院できなくても，どんな医療が家で受けられるのでしょう？末期ガン，認知症，難病，慢性疾患，小児など最新の訪問看護やリハビリをご紹介します．	大学教員
E-73	ひとりでできる！便活・尿活！ひとりで悩まない生活対応（簡単な運動と工夫）	便活・尿活は高齢者に多い「人に言いにくい悩み」のひとつです．恥ずかしいことではなく，皆で正しい知識や生活の工夫，ひとりでできる簡単な予防体操を，楽しみながら学びましょう．	大学教員
E-74	遺伝カウンセリング	近年の科学技術の進歩により、病気と遺伝の関係について様々なことがわかってきました。反面、それとともに不安が生じてくることがありますが、どこで相談したらよいのでしょうか。そういったご相談をお受けしている遺伝カウンセリングについてお話しします。	大学教員
E-75	脳梗塞後の麻痺回復と脳内変化	最近、脳梗塞後のリハビリテーションにおいて、麻痺回復に着目した様々な訓練法が開発されてきています。現在進行中の麻痺回復に至る脳内のメカニズムの研究と、開発中のリハビリ・薬剤併用療法についてお話し致します。	大学教員
E-76	生まれも育ちもみんな違うって、強いこと	遺伝を研究中、個性が現代人の一大特徴であることに気づきました。 霊長類の遺伝子研究の為、アフリカに出かけたことも。 ヒトの進化と多様性を知って、違った見方で他人を尊敬できればいいですね。	大学教員
E-77	遺伝子って何だろう？DNAって何かしら？	生物の基本単位である細胞の核の中に、生命をつかさどるすべての情報が遺伝子―DNAという物質―に含まれています。さて、その情報はどのような過程を経て、生物の構造と機能の主役である蛋白質を作っているのでしょうか？その秘密に迫る研究成果を分りやすく解説しましょう。	大学教員
E-78	DNAと私たち	私たちのからだの「設計図」と呼ばれるDNA、あるいは遺伝子について、それらを取り巻く社会情勢を交えながらわかりやすく解説します。	大学教員
E-79	遺伝子検査、遺伝子カウンセリング	近年の遺伝子検査は、将来病気になるかどうかだけでなく、親子鑑定や唾液でできる肥満体質検査、子どもの能力検査と、とどまるところがありません。一方で、このうような検査には、疑問と不安がつきまといます。あなたなら受けますか？受けませんか？	大学教員

出張講義一覧表

F　病院/看護、検査、その他

No.	タイトル	概要	講師
F-1	摂食嚥下障害患者に対する具体的アプローチ	誤嚥を起こしやすい摂食嚥下障害患者に対する誤嚥徴候の見分け方、具体的な食事介助方法や食事形態の選定方法、栄養管理、さらには誤嚥にさせない口腔ケア	看護師
F-2	咀嚼嚥下障害援助論	専門領域コース「摂食嚥下障害看護」（講義 9 日間＋施設研修等 5 日間）のプログラム中の1日研修。摂食嚥下障害認定看護師希望。 ねらい：脳血管障害、高次機能障害、神経・筋疾患、頭頸部がん、精神疾患とその治療による摂食嚥下障害を有する対象への援助を理解する。	看護師
F-3	オーラルフレイル（口腔機能低下症）	看護師対象：口腔機能の低下及びそれに関連する身体機能低下と口腔ケア	看護師
F-4	フレイル・サルコペニア	看護師・一般対象：虚弱・筋力低下に関する概論、対応	看護師
F-5	誤嚥性肺炎予防	看護師・一般対象：誤嚥性肺炎の機序・予防・発症後の対応等	看護師
F-6	口腔機能評価	看護師対象：OHATを中心とした口腔機能評価と口腔ケア	看護師
F-7	摂食嚥下機能療法	看護師対象：加算概要・訓練方法	看護師
F-8	食形態の選定	嚥下評価に基づく食形態の選定（調理・作成方法ではありません）	看護師
F-9	脳卒中の再発予防・合併症予防について	脳卒中の再発予防について生活のアドバイス 脳卒中患者の機能障害への看護や合併症の予防、実技	看護師
F-10	脳卒中の予防について	脳卒中予防のための生活習慣改善について	看護師
F-11	脳卒中の発症時の対応	脳卒中で起こりうる症状の観察ポイントや発症時の初期対応、（急性期の治療）について	看護師
F-12	脳卒中後の日常生活援助	施設や退院後の生活でお困りになりそうな生活（移動や移乗、排泄など）について	看護師
F-13	ストーマケア	ストーマケアにおける術前から術後、そして退院後における基礎知識、そしてスキントラブル時の対処方法などについて 周手術期のストーマケアから装具選択方法、ストーマ合併症ケアのケア方法全般	看護師
F-14	褥瘡予防ケアと治療的ケア	褥瘡対策の最新のトピックス 褥瘡予防・治療ケアの実際について	看護師

出張講義一覧表

F　病院/看護、検査、その他

No.	タイトル	概要	講師
F-15	便活（便秘予防）	便秘のメカニズムについて 日常生活指導とともに簡単な運動やマッサージ方法について	看護師
F-16	スキンケア	アトピーなど皮膚のトラブルがある方や、お子さんに皮膚トラブルのある方が対象 皮膚の清潔を保つ方法や軟膏塗布方法、実際に石鹸を泡立てて正しい清潔ケアの方法の体験	看護師
F-17	スキン-テアの予防と治療	脆弱な皮膚に対してスキンテア(皮膚裂創)の予防から対処方法について	看護師
F-18	感染対策の基本	感染成立、感染経路、感染対策について	看護師
F-19	薬剤耐性菌	耐性化のメカニズム、薬剤耐性菌対策について	看護師
F-20	冬場に流行する感染症	インフルエンザ等の予防と対策について	看護師
F-21	職業感染対策	針刺し・粘膜曝露対策について B型肝炎、麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、ウイルス抗体価検査やワクチン接種について	看護師
F-22	感染性腸炎の予防	感染対策、吐物処理について	看護師
F-23	介護施設における感染対策	標準予防策や感染経路別予防対策、新型コロナウイルス、インフルエンザやノロウィルス、疥癬等の流行期に必要な感染対策について	看護師
F-24	保育所における感染対策	乳幼児に多い感染症の特徴、保育所における感染対策について	看護師
F-25	幼児に多い感染症の特徴	病後児保育室担当職員及び私立保育園0・1歳児担当看護師を対象 乳幼児に多い感染症の特徴、病後児に起こりやすい問題、感染防止対策等に関する研修	看護師
F-26	熱中症予防と応急処置について	熱中症のメカニズムと対策を、時期・時間帯や傾向などについて 成人と小児の対処方法のちがいについて	看護師
F-27	医療的ケア児の支援について	地域の訪問看護ステーションなどに対して 病院で実施している退院時の家族支援と地域連携について	看護師
F-28	子どもの自宅での事故予防	子どもの不慮の事故の現状 発達段階に合わせた自宅での事故の発生原因とその対応対策について	看護師

出張講義一覧表

F　病院/看護、検査、その他

No.	タイトル	概要	講師
F-29	ヤングケアラーへの支援を考える	学校関係者やその他子どもに関わる職種を対象 ヤングケアラーの現状や問題点、支援に関することなど、協働できることを考える機会とする	看護師
F-30	NICUについて	NICUの現状について 子どもたちや家族がNICUでどのように過ごし、医療者としてどのようにかかわっているのかを説明	看護師
F-31	低出生体重児の退院支援と地域連携について	地域の訪問看護ステーションなどに対して 病院で実施している退院支援と地域連携について	看護師
F-32	学校における救急処置	学校で考えられるこどものけが、病気について	看護師
F-33	日常生活でできる心停止の予防とBLS	地域住民向けに身近なテーマをとりあげ看護師主体で実施する	看護師
F-34	救急看護の魅力	心臓マッサージの方法やAEDの使い方など、救命処置について DMAT（災害派遣チーム）について	看護師
F-35	一次救命処置	倒れている人を発見したときに行う行動を分かりやすく説明 インストラクターが付き、心臓マッサージやAEDの使用方法の説明、体験	看護師
F-36	あなたは人の命が救えますか?	日常の家庭、施設、組織の中で身近の命に直面した時に行うAEDの使用方法、心肺蘇生法について	看護師
F-37	新興感染症流行下における一時救命処置	新興感染症流行を踏まえた市民による救急蘇生法について	看護師
F-38	災害時における看護職の役割	地域に所属する看護師や保健師を対象に、災害時における役割と医療機関との連携について一緒に考える機会とする	看護師
F-39	手術を受けることになったら	禁煙の必要性や全身麻酔の影響 手術を受ける際の状況(挿管チューブの固定や対極板、心電図モニター管理下など、どのような状態で手術を受けるのかを説明)	看護師
F-40	最先端の手術医療を支える看護	ロボット支援下や移植手術など大学病院ならではの最先端手術医療について携わる看護師の視点から説明	看護師
F-41	集中ケアの魅力	負担が大きい手術を受けた患者の早期回復（生きる力）を図る看護について 集中ケアの専門的な知識と技術について	看護師
F-42	急変時対応・心肺蘇生	看護師対象：急変兆候のアセスメント、BLS、ACLSについて	看護師

出張講義一覧表

F　病院/看護、検査、その他

No.	タイトル	概要	講師
F-43	ME機器の取り扱いと看護	看護師対象：人工呼吸器などの生命維持装置の取り扱いについて	看護師
F-44	フィジカルアセスメント	看護師対象：全身状態を観察するためのフィジカルアセスメントについて	看護師
F-45	倫理コンサルテーション	一般の方もしくは医療従事者対象 臨床現場や在宅で遭遇する倫理的問題（治療方針の選択、意思決定、アドバンスケアプランニングなど）について、一緒に語り合う機会をつくる	看護師
F-46	在宅における急変時対応	大切な家族を守るため、在宅において「いつもと違う？何かおかしい？」に気付け、急変時対応を行うスキルをレクチャーする	看護師
F-47	人工呼吸器装着患者の日常生活支援	その人らしい生活を継続するため、在宅にて医療・介護を継続する人工呼吸器装着患者のケア、呼吸器の観察の視点について説明	看護師
F-48	骨折しないための生活環境・応急処置	自宅の環境で行える転倒予防方法について もし、転倒してしまい骨折の可能性があると感じた場合の自宅でできる対処方法について	看護師
F-49	慢性腎臓病（CKD）について 透析との上手な付き合い方	慢性腎臓病（CKD）の概要と現状 腎臓にやさしい生活、腎不全になってしまった場合の治療法など、透析との上手な付き合い方について	看護師
F-50	セルフモニタリング支援	看護師又は患者・家族対象 慢性心不全患者へのセルフモニタリング指導及び増悪予防、地域との連携の必要性について共に考え協働する機会とする	看護師
F-51	生活習慣病の予防	肥満、高血圧、糖尿病、メタボリックシンドローム、痛風等生活習慣病の予防や対策について	看護師
F-52	糖尿病にならないための生活のコツとは	糖尿病の現状と特徴 糖尿病を防ぐための日常生活の工夫とコツについて	看護師
F-53	糖尿病の基礎知識と看護	多職種（看護師含む）対象 糖尿病の概要、検査、診断、治療の基礎的な部分に加え、それぞれの職種に合わせた支援のポイントについて	看護師
F-54	患者さんを支える指導方法	看護師対象 行動変容につなげるための患者への説明、指導方法について、日常の看護の中でのポイントから説明	看護師
F-55	糖尿病看護の今と昔	看護師対象 糖尿病医療、糖尿病看護分野における過去、現在そして将来的な部分も含めて説明	看護師
F-56	フットケアの基本	看護師・一般対象 糖尿病患者の足病変の基礎知識とケア方法について	看護師

出張講義一覧表

F　病院/看護、検査、その他

No.	タイトル	概要	講師
F-57	炎症性腸疾患（クローン病潰瘍性大腸炎）と上手く付き合う方法	炎症性腸疾患のよりよい状態で過ごすための日常生活方法のポイントについて	看護師
F-58	慢性呼吸器疾患って何？	慢性呼吸器疾患（COPD)の現状と特徴について COPDとの上手な付き合い方(禁煙指導、日常生活指導)について	看護師
F-59	いびきを気にしている方へ	睡眠時無呼吸症候群の概要について 治療の種類や検査方法、手術の内容について	看護師
F-60	抗がん剤治療の副作用対策	がんの治療について(手術、化学療法（抗がん剤治療）・放射線療法等) 抗がん剤の副作用と苦痛を和らげる対策について	看護師
F-61	がん放射線療法看護について	がん放射線治療の実際やケアの方法、日常生活の注意点について	看護師
F-62	がんの痛みのサポート	がんによる痛みを早期から和らげる方法と 今までと変わらない生活を送っていただくためのお困りごと、薬剤の相談について	看護師
F-63	“がん”になったときに大切にしたいこと ～人生会議をしよう～	『自分の人生』を大切にするための”人生会議”について説明し、ともに考える	看護師
F-64	がん教育	小学生（高学年）・中学生を対象 がんのことをよく知って、みんなでがんという病気と向き合えるように自分に何ができるか考える	看護師
F-65	認知症予防について	認知症を身近な存在と捉え、認知症についての知識と予防について説明	看護師
F-66	認知症~~看護~~の方との関わりについて	認知症の方がその人らしく暮らしていくための関わり方ついて	看護師
F-67	介護に関する相談	地域密着の総合小売業店で介護用品の特売セールに合わせて看護師とリハビリ技師による介護に関する相談コーナーを設置 看護師は土日を除き毎日1～2時間参加	看護師
F-68	せん妄予防と対応方法について	入院による環境の変化や疼痛等によりせん妄を発症しないようにせん妄予防に対する看護師の関わり方、対応方法について	看護師
F-69	転倒予防、介護保険の説明	介護の必要なく日常生活を過ごせるよう、自宅でできる運動や環境について説明 介護保険制度の対象者・制度・申請方法について	看護師
F-70	患者家族ケア	自宅で介護に悩む患者家族への環境調整、関わり方、社会資源について説明	看護師

出張講義一覧表

F　病院/看護、検査、その他

No.	タイトル	概要	講師
F-71	住環境調整	最期を迎えるまで住み慣れた自宅で生活することができるよう住環境の調整について	看護師
F-72	COPD（慢性閉塞性肺疾患）患者の運動療法	動作時の息切れを主な症状とする慢性閉塞性肺疾患（COPD）に対する呼吸方法や、日常生活動作における動作方法の工夫や注意点、リハビリについてお話しします。	理学療法士
F-73	医療安全と転倒予防	医療安全とリハビリの観点から転倒予防やその取り組みをお話しします。	理学療法士
F-74	ポジショニング	じょくそうを作らないためのポジショニングについて解説します。	作業療法士
F-75	気管支喘息とCOPD	気管支喘息・COPDの治療と吸入薬の使用方法	薬剤師
F-76	睡眠障害の検査	日本では約200万人もの人がいびきをかく、睡眠中に呼吸が止まる、すなわち睡眠時無呼吸症候群に罹患しているといわれております。この病気は、治療しないと心筋梗塞、脳梗塞などの合併症を引き起こす危険があります。当院は全国でも有数であり、睡眠時無呼吸症候群の検査や治療についてお話しします。	検査技師
F-77	アカントアメーバ―について	コンタクトレンズが原因で発生するアカントアメーバ―について、啓発と予防などを含めてお話しします。	検査技師